

県下の交通事故

(平成10年3月20日現在)

年別	発生件数	死者	傷害
平成9年	1,165件	12人	1,585人
平成10年	1,266件	11人	1,618人
比較	+101件	-1人	+33人



◆ 第122号 ◆
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11 県民会館2階
 〒400-0031
 財団法人 山梨県交通安全協会
 山梨県交通安全活動推進センター
 (0552) 32-4682
 TEL 甲府 (0552) 37-7827



命の尊さを学ぶ交通安全教育は幼児期から

運動の重点

- 一、子どもと高齢者の交通事故防止
- 二、シートベルトの着用の徹底

第一〇〇回目の春の全国交通安全運動

4月6日(月)から
4月15日(水)まで

今年も春の交通安全運動が四月六日から十五日まで十日間実施されます。この運動は、県民一人ひとりに交通安全の知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに交通ルールを守って正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ろうとする運動です。

昭和二十三年第一回から今回で一〇〇回目の運動なので成功させましょう。昨年の交通事故による死者は、全国では九千六百四十人(前年比三百二人減)で二年連続して一万人をきりました。しかし、県内では百十人(一人減)で、昨年も残念ながら二ヶ台の達成はできませんでした。

事故発生件数及び負傷者数とも大幅に増加しており死亡事故につながりかねない状況です。今年全国の交通事故死者は、三月二十日現在千八百二十三人で、前年

死者は、三月二十日現在千八百二十三人で、前年

交通安全のために

人災として発生する交通事故、今日もどこかで多くの涙が流され、苦しみに耐える家族がいます。また、昨年、全国では九、六四〇人が交通事故で亡くなり、本県でも一〇〇人が尊い命を失っています。

総務庁が発表した交通事故の社会的損失額の換算によると、その額は四兆三五〇〇億円になるといわれ、平成一〇年度本県予算の約九倍に相当する額となります。

ところで、車の性能等は、技術の進歩により安全性が追求されてきていますが、一部ドライバーの安全意識の欠如により車も時として凶器になり

一人となつていきます。高齢になりますと、身体的、心理面から視聴覚や身体の動きなど情報処理能力が低下し、さらに柔軟性がなくなり頑固に自分のペースを守るなどの特性があります。

●シートベルト着用の徹底
 県内の走行車両のシートベルトの着用率について数回調査しましたが、春・秋の交通安全運動中の成績は良くても通常時の着用率は低いようです。昨年の全交通事故についてみると二八・五%、死者については二八・八%と、重大事故になるほど着用率が低くなつてい

●高齢者の交通事故防止
 高齢者(六十五歳以上)の死者は、昨年は二十八人(六人減)で、状態別では歩行中の死者が十三人、四輪運転中が十

一方、交通事故の際、被害を軽減してくれるのがシートベルトです。シートベルトの着用が義務化されて以来、すでに二年が経ちますが、最

さて、今年の春の全国交通安全運動は、昭和二十三年から数えて一〇〇回目を迎え、息の長い運動として定着しています。

近、交通事故に関する損害賠償請求事件につき、シートベルトの着用・非着用による過失相殺判例が多く出されています。たとえ被害者であっても損害額が減額されるとい

●認識ミスは脇見運転のように他のことに気をとられ、判断ミスは車間距離不足や過信、また操作ミスはブレーキとアクセルの踏み違いなどを言



●人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合

●人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合

●人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合

●人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合

●人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合

●人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合

●人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合



県警交通調査官 鈴木正明

「交通安全」
 転ばぬ前の杖として

第38回交通安全国民運動中央大会

金章に松田・大久保氏

富士吉田安協に優良交通安全協会賞



全日本交通安全協会（平岩外四会長）と都道府県交通安全協会（連合会）主催の第三十八回交通安全国民運動中央大会は、東京都内で二月二十七日に分科集会、翌二十八日に本会議と二日間の日程で慎重な議論が交わされ盛大に開催されました。

日比谷公会堂で開かれた本会議

表からは特に発表がありませんでした。しかし、家庭部会には小笠原安協の河西美佐子婦人部長が出席し熱心に研修を受け、その成果について、二月二十四日石和町内のホテルで開催

第一日目の分科会には都内新宿区のホテル海洋で行われ、地域・企業・家族の三部会に分かれ、安協・安管協・企業等の代表者から日ごろの活動状況等についての発表が行われ、続いて活発な意見交換も行われました。

本年は、地域・企業・家庭部会とも、本県の代表からは特に発表がありませんでした。しかし、家庭部会には小笠原安協の河西美佐子婦人部長が出席し熱心に研修を受け、その成果について、二月二十四日石和町内のホテルで開催

このあと交通安全大会宣言が採択され、この会議に参加した全国各都道府県交通安全協会の役員等全員が、今年も交通安全全語活動を精一杯推進することを確認しました。

- （優良運転者）
 山梨県協理事・石和安協会長
 大久保 光雄
 （交通安全賞賞状・緑十字章）
 山梨協理事・都留安協会長
 日向 正己
 山梨協評議員・小笠原安協副会長
 相澤 誠治
 （優良運転者）
 山梨安協副会長
 井手 恒蔵
 高上吉田安協副会長
 宮下 吉男
 （交通安全優良団体）
 山梨県交通安全協会

山梨県交通安全協会「交通安全活動推進センター」として指定
 今年四月から従来の道路使用適正化センター（県安協内）の事業に、交通安全に関する事項の広報、啓発活動、交通安全に関する相談等に対する支援活動等を行うことができると認められる公益法人として、山梨県交通安全協会が「交通安全活動推進センター」として指定を受けました。

活動推進センターとして指定を受けました。これは、公益法人の法的な位置付けを明確にされたこととなります。山梨県交通安全協会が「交通安全活動推進センター」として指定を受けました。これは、公益法人の法的な位置付けを明確にされたこととなります。

また、四月から施行の改正道交法によると、免許を取消された場合の欠格期間の上限が三年から五年に延長。暴走行為を指揮するリター等重重大違反をさせた者の免許の取消し。本人の申請による免許の取り消し。などが規定されていますので、お互い気をつけましょう。



昨年は、県内の交通事故死者数は百十人で前年比では一人減少しましたが、二年連続二ケタ台は達成できませんでした。また、事故発生件数と死者数も激増するなど極めて憂慮すべき状態です。

県安協は、改正道交法により、今年四月一日から交通安全活動の中核的存在として「山梨県交通安全活動推進センター」の指定を受け、さらに十月一日には軽微違反者講習（実車及び社会参加活動等）の委託も受ける予定で、事業も増えます。

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

平成十年度事業計画

④反射材の着用促進の四
 点として以下諸事業を実施します。

一、各種交通安全運動等
 春・秋の全国交通安全運動及び夏期・年末年始県民運動等各種交通安全運動の推進

二、平成十一年交通安全
 県民大会の開催（一月）

三、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

四、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

五、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

六、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

安協の任務増大に対応 県安協合同役員会

県交通安全協会は、三月二十七日、甲府市内の古名屋ホテルで平成十年度の事業計画や予算などを審議するため、県安協理事、監事、評議員合同役員会を開催しました。

851チームが達成

～チャレンジ200作戦～
 参加は1,528チーム

県交通安全協会（天野知事）が表彰され、チームの代表者に天野知事から表彰状等が贈られた。県民の盛大な抽せん会が開かれました。



表彰式であいさつをする天野知事

県交通安全協会（天野知事）が表彰され、チームの代表者に天野知事から表彰状等が贈られた。県民の盛大な抽せん会が開かれました。

県交通安全協会（天野知事）が表彰され、チームの代表者に天野知事から表彰状等が贈られた。県民の盛大な抽せん会が開かれました。

県交通安全協会（天野知事）が表彰され、チームの代表者に天野知事から表彰状等が贈られた。県民の盛大な抽せん会が開かれました。

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店
 甲府市丸の内2丁目32-13
 日東ビル4階
 TEL0552-28-0691

シートベルトを着用しましょう

はじめに

山梨県内における運転免許保有者数は、五三万八千人余りを数え、今日の社会では、多くの県民にとって自動車運転することが日々の生活に欠かすことのできないものとなっております。

しかし、その一方で県民の誰もが交通事故の被害に遭う危険にさらさ

しないで亡くなった人の約半数に達しております。シートベルトの着用は昭和六〇年九月、高速道路での義務化に続き、翌昭和六一年十一月から一般道路においても、自動車の前席に乘車する人に着用が義務付けられました。

今から十一年ほど前のことですが、

シートベルトの着用が義務化された当初は、国民の関心も高く、全国的に、平成六年四月には、毎月一日を「シートベルト着用推進の日」に定め、広く県民運動として着用の推進を呼びかけております。

また「シートベルトの着用の徹底」は、全国交通安全運動の「推進重点」の一つとして、昭和五八年の春の全国交通安全運動から連続して毎回掲げられ、国民運動、県民運動として推進されております。



42.9%は助かった “命綱”の認識を新たに

れており、毎年多くの方々が交通事故で尊い命を失っております。

昨年一年間、県内で交通事故によって亡くなった人は一、〇人でした。

このうちシートベルトを着用していた人は、着用を義務付けられている五人中一人（着用率二八・八％）でした。また、着用していれば助かったと思われる人は一八人もおり、救命率は四一・九％で、シートベルトを着用

着用率は九六・五％まで浸透しましたが、その後低下してきております。県内におけるシートベルトの着用状況（着用率）は

▽人身交通事故全体では七〇・八％（全国平均七七・四％）

▽死亡事故では二八・八％（全国平均三二・五％）で、いずれも全国平均を下回り、極めて低調な状況であります。

二 シートベルト着用率の向上に向けて

シートベルトの着用は車を利用する人の自発的

な交通安全意識に関わるものであり、交通関係機関・団体等の皆さまが着用率の向上に向け、年間を通じて、啓蒙啓発活動等を展開しております。

特に、県では平成四年四月に、シートベルト着用徹底県民運動推進要領を制定し、さらに、この運動の実効を期すために、平成六年四月には、毎月一日を「シートベルト着用推進の日」に定め、広く県民運動として着用の推進を呼びかけております。

また「シートベルトの着用の徹底」は、全国交通安全運動の「推進重点」の一つとして、昭和五八年の春の全国交通安全運動から連続して毎回掲げられ、国民運動、県民運動として推進されております。

こうした中で、県警察では、交通関係機関・団体の皆さまと連携し、①春・秋の全国交通安全運動などの各種運動期間中の「街頭指導所」における「シートベルト・キヤンペーン」の実施

②テレビのCM制作やラジオ、新聞等広報媒体の活用など、シートベルトの着用の徹底と正しい着用等について、広報・啓発活動を行っております。

一方、シートベルトの指導・取締りも重点の一つに掲げ、年間を通じて実施しているところであ

ります。

ところで、シートベルトを着用しない人の多くは「面倒だから」「すぐ近くだから」「渋滞して危険がないから」といったような理由により、着用していないと聞いております。

しかし、シートベルトはドライバーや同乗者の命を守る大切な「命綱」です。

警察をはじめとする交通関係団体による取り組みにもかかわらず、交通事故による死者が減少しない厳しい情勢の中で、私達、上野原交通安全協会でも交通事故防止のため、各種交通安全活動に積極的に取り組みました。

その甲斐あって昨年の上野原警察管内では死亡事故件数「ゼロ」という快挙を成し遂げることができ、私達もその翼を担うことができたと思っております。

そこで私達の行なった活動内容を幾つか紹介いたします。

一、「子供と高齢者に対する交通事故防止活動」の推進

昨年の全国交通安全運動期間中は街頭監視活動今年一月に安全を願

二、「全国交通安全運動期間中等での街頭指導」の推進

諸活動を展開することにより交通事故を減らし、明るく住みよい街づくり

三、「幅広い活動の推進」

各支部単位の活動としては、山岳地域でカーブ

四、「夜間の安全は反射材」

見舞金付きの活用も

三 終わりに

県警察本部交通安全課では、昨年来数回、県内の市町村や交通安全協会等関係団体の協力を得てシートベルトの着用状況を調査しております。

シートベルトの着用は車に乗る人すべてが自発的な安全意識に基づき、正しい着用を習慣づけることがより大切であり、自分自身の問題として実践すべきですが、調査結果ではまだ不十分です。

長野オリンピックの日本選手の活躍は、経済不況や少年犯罪等暗いニュースが続いたなか、金メダルに輝いた清水選手やジャンプ陣等の活躍は、国民に感動と勇気を与えたばかりでなく車の運転にも共通しているものと考えます。

スピードコントロール、さらには船木選手の時速九十キロでの踏切を一センチ以内で合わせる集中力は驚異的であり、心・技・体が一体となり、両者ともコースや気象状況等を的確に把握して瞬時の状況判断に基づく反応動作を確実に行う集中力は抜群であり訓練の成果であると思えます。

プレッシャーを分けあい、お互いを思いやる熱き友情こそ、日本人が忘れかけていたものを思い出させてくれたもの。混合交通の車社会の中において、他人の車や歩行者等に対する配慮の欠如が問われる

「思いやり」

メタリスト達は熱烈な声援に感謝し、清水選手は堀井選手、ジャンプの原田選手に対する岡部・斉藤・船木選手のパックアップなど

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

「集中力」

失敗が許されないプレッシャーの中で、清水選手の百分の一秒を争うロケットスタートと、遠心力を考慮した

「思いやり」

メタリスト達は熱烈な声援に感謝し、清水選手は堀井選手、ジャンプの原田選手に対する岡部・斉藤・船木選手のパックアップなど

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

財団法人 山梨県交通安全協会経営

公認 **山梨自動車学校**

中巨摩郡八田村野牛島1828
(運転免許センター内)
TEL (0552) 85-0752

★各車種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

「暴走は命とり」

一発勝負をかけ、遠心力を考慮せず自分の技術を超えて転倒する選手が目につきました。が、車の運転も同様であり暴走は「死亡事故」に直結してしまいます。

自転車による交通事故が増えています。

アナタの自転車に「TSマーク」が貼ってありますか!!

- ・TSマークは、点検・整備された自転車の印しです。
- ・点検・整備された自転車に乗ることが、自転車による交通事故防止の第一歩です。
- ・点検・整備は「自転安全整備店」の表示のある自転車店でお引き受けします。
- ・TSマーク付自転車で交通事故に遭うと見舞金が贈られます。

山梨県自転車軽自動車商協同組合 甲府市飯田5丁目12-9 ☎0552-22-9207

